

議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 令和6年1月29日（月）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和6年1月29日（月）午前10時42分
- 3 会議場所 熊山支所大会議室
- 4 出席委員
 - 1 番 牛尾 直人君 6 番 光成 良充君 9 番 治徳 義明君
 - 11 番 金谷 文則君 13 番 福木 京子君 15 番 下山 哲司君
 - 17 番 佐藤 武議長
- 5 欠席委員
 - 8 番 大口 浩志君
- 6 説明のために出席した者

市	長	友實 武則君	副	市	長	前田 正之君		
教	育	長 坪井 秀樹君	総	合	政	策	部	長 倉本 貴博君
総	務	部	長 戸川 邦彦君	教	育	次	長 入矢五和夫君	
総	務	課	長 花谷 晋一君					
- 7 事務局職員出席者

議会事務局長	土井 常男君	副	参	事	野田 順子君
--------	--------	---	---	---	--------
- 8 協議事項
 - 1) 令和6年2月行事予定について
 - 2) 令和6年3月定例会の会期日程（案）について
 - 3) その他

午前10時0分 開会

○委員長（下山哲司君） ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

大口委員より欠席届が出ておりますので、御報告いたします。

初めに、議長より挨拶をお願いいたします。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 本日は皆さん御苦労さまでございます。

令和6年も1月がもう終了しようとしております。そうした中で、2月の行事予定について、それから3月定例会の会期日程、それからその他について御協議をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、令和6年2月行事予定について、議会事務局及び執行部から説明をお願いします。

○議会事務局長（土井常男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 土井局長。

○議会事務局長（土井常男君） それでは、資料の令和6年2月議会行事予定（案）、こちらのほうを御覧いただきたいと思います。

本会議については、協議事項(2)3月定例会の会期日程（案）のところで御説明をさせていただきますので、割愛させていただきます。

まず、2月2日金曜日13時30分から議員研修がございます。

同日19時より、赤磐医師会学術講習会がございます。

2月5日月曜日10時から産業建設常任委員会がございます。

2月6日火曜日10時から厚生文教常任委員会がございます。

2月7日水曜日10時から総務常任委員会がございます。

2月8日木曜日10時からまちづくり調査特別委員会がございます。

特別委員会終了後、議会改革検討委員会がございます。

2月9日金曜日13時30分から議会運営委員会、14時30分から議会全員協議会がございます。

2月11日日曜日10時から桜が丘地区高齢者文化交流発表会がございます。

2月14日水曜日13時から和気老人ホーム組合議会、続いて14時より和気北部衛生施設組合議会、15時より和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合議会がございます。

2月22日木曜日、本会議終了後、広報広聴委員会広報部会がございます。

事務局からは以上です。

○総合政策部長（倉本貴博君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 倉本総合政策部長。

○総合政策部長（倉本貴博君） それでは、執行部の2月の主な行事予定について御説明をいたします。

市行事予定（案）を御覧ください。

3日土曜日、桜が丘いきいき交流センターにおいて、赤磐市青少年健全育成推進大会を開催いたします。市長と教育長の出席です。

5日月曜日午前、岡山市内で、岡山県土地改良事業団体連合会通常総会が開催されます。市長が出席いたします。

同日午後、消防本部において、交通安全対策協議会総会が開催されます。三役の出席です。

6日火曜日、岡山市内で、岡山県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会が開催されます。市長が出席いたします。

7日水曜日午前、岡山市内で、岡山都市圏連携協議会が開催されます。また、同日午後、総社市内で、インフラメンテナンス市区町村長会議中国ブロック会議総会が開催されます。ともに市長が出席いたします。

13日火曜日午前、産業会館において、定例記者懇談会を開催いたします。また、同日午後、消防本部において、自衛隊入隊・入校激励会を開催いたします。ともに市長が出席いたします。

15日木曜日午前、中央図書館において、総合教育会議を開催いたします。市長と教育長の出席です。また、同日午後、エコプラザあかいわにおいて、男女共同参画推進審議会を開催いたします。市長が出席いたします。

以下、2月中は議会日程となっております。

執行部の2月の主な行事予定は以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ただいま説明が終わりました。

ただいまの説明について質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて協議事項2番目、令和6年3月定例会の会期日程（案）について、議会事務局から説明をお願いいたします。

○議会事務局長（土井常男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 土井局長。

○議会事務局長（土井常男君） それでは、令和6年2月から3月の議会スケジュール表（案）を御覧ください。

3月定例会を2月16日金曜日に開会する日程で組んでおります。その関係から、1週間前の2月9日金曜日13時30分から議会運営委員会、引き続き14時30分から議会全員協議会の開催となります。この関係で、一般質問通告の受付は1月31日水曜日から始まり、2月6日火曜日を

締切りとしています。

3月定例会は、2月16日金曜日と19日月曜日が本会議、議案の上程です。初日の16日金曜日から20日火曜日までが質疑通告の受付期間です。2月20日火曜日、21日水曜日、22日木曜日を一般質問とし、26日月曜日を予備日とします。27日火曜日は本会議で、質疑、委員会付託となります。28日水曜日は予備日です。29日木曜日は産業建設常任委員会、3月1日金曜日は総務常任委員会、4日月曜日は厚生文教常任委員会となります。5日火曜日は予備日です。6日水曜日、7日木曜日、8日金曜日は予算常任委員会とし、11日月曜日は予備日です。

8日金曜日から13日水曜日までが討論通告の受付期間です。

最終日を3月14日木曜日とする案としております。

なお、3月28日木曜日は議会運営委員会を予定しています。

以上で説明を終わります。

○委員長（下山哲司君） 説明が終わりました。

ただいまの説明について質疑はありませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 予算が3日間あるんですけど、順番は、担当のところをやっていくんですか。各委員会の順番がどういうふうになりますでしょうか。

○議会事務局長（土井常男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 土井局長。

○議会事務局長（土井常男君） 1日目が総務常任委員会、2日目が厚生文教常任委員会、3日目が産業建設常任委員会の順番となります。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○委員（福木京子君） ありがとうございます。

○委員長（下山哲司君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて協議事項3番目、その他について、委員または執行部から何かありましたら発言をお願いいたします。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 議会ICT推進委員会から、報告というか、連絡をさせていただきたいと思います。

1月18日に議会ICT推進委員会を開きまして協議しましたことを少し報告をさせていただきたいと思います。

タブレットの活用について今後どのようにしていくかということで、2項目協議させていた

できました。

1つ目でございますけれども、現在予算書と併用で使っておるんですけれども、この併用期間をいつまで続けるのかということで協議をいたしました。委員の中からの話では、将来的には全てデータにするという前提であって、いつを目指すのかという、まだ決定的なものは話してないんですけれども、タブレットというのが議員間でちょっと慣れとか差があるということもありますので、紙文書が必要である方ない方というのがまだ足並みがそろってない部分がございます。議員全員に対してデータ完全移行をしていくのも考えるのですけれども、執行部のほうにも紙でされてる方もいらっしゃると思うので、執行部との足並みをそろえて一緒にしていかないといけないのかなというふうに考えております。

紙をなくすことによって、一番最初にタブレットを入れるときに、ペーパーレスになりますと大体どれくらいの予算が削られるのかなという試算をさせていただき、400万円程度の削減ができるのではないかなということがあったんですけども、現在紙で出していただいているのが、9月の決算書と主要施策成果説明書、それと3月の当初予算書、この製本をされてる部分については出していただいているんですけれども、完全にペーパーレスにすると、この3つが要らなくなったときにどれくらいの費用が削減できるのかっていうのも考えていかないといけないので、その部分については現在調査中でございます。

今後、これによって、ペーパーレスにすることでどれくらいの費用が削られていくのかっていうのも考えながら、ただ皆さんの意見の中には主要施策成果説明書だけは紙で欲しいとかといういろいろな意見もありましたので、もう少しICT推進委員会の中で話をさせていただいて、また皆さんの御意見を聞かせていただきたいと思いますので、議会全員協議会等でもお話をさせていただきたいと思っております。

それと、2つ目でございます。

会議システムというのがタブレットには入っております。今このページを開いてますよという発信者がいて、その発信者の連絡を受けてタップをしていただくとそのページが開くというものなんですけれども、それを使ったほうが便利なのは明らかなんですけど、それを誰が操作をするのかっていう、議員でするのか執行部にさせていただくのか事務局でするのかっていうのもあるんですけども、そのためだけに1人人員を増やすっていうのも、経費削減を考えているのに、そこだけまた1人増やすっていうのも話が変わってくるのかなっていう意見もありますので、この会議システムを使うに当たって、もっと協議をしていかないといけないかなというふうには考えております。それをもうちょっと話をさせていただいて、また御報告をさせていただきたいと思います。

ICT推進委員会、この2項目について引き続いて協議をさせていただいて、またその部分について、先ほど言いましたように、議会運営委員会、議会全員協議会のほうで諮っていただきたいと思いますので、そのときはどうぞお願いしたいと思います。

私からは以上でございます。

○委員長（下山哲司君） 議長、この件に関しては、全協のときに経過報告で今と同じ内容を報告していただくということでよろしいですか。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） I C T推進委員会でいろいろなケースを想定して検討していただいておりますので、タブレットの有効利用について、これからもいい方向で進めていただきたいと思いますので、議会全員協議会の中で光成委員長のほうから御説明していただければと思っております。

○委員長（下山哲司君） 議会全員協議会で、光成委員長のほうから報告していただくことでよろしいですか。

内容は御理解いただけましたか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 先ほど、タブレットの使い方についてはその説明はそれでいいとは思いますが、ペーパーレス化の問題で、議会事務局に、今の決算書を含めて、予算書等は多分書類で保管をしとかなきゃいけないということになっとなじらないかなと思うので、その印刷は必要なんですよ。どうなんか教えてください。

○議会事務局長（土井常男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 土井局長。

○議会事務局長（土井常男君） 事務局で保管する冊子については、必要でありますので、準備はしていただくようになります。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 事務局だけでなくて執行部のほうも要るんじゃないんですか、要らないですか。

○議会事務局長（土井常男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 土井局長。

○議会事務局長（土井常男君） 図書館へ保管するようなこともあります。あと、執行部が必要かどうかというのはまだ検討なんです、予算についてはちょっと違います。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） ありがとうございます。

要は法律上、法律っていうか、規約上決まっとるか決まってないかだけの話なので、勝手に

必要だとか必要でないという問題じゃなくて、要るんなら要るようにしなきゃいけないし、図書館にも当然何冊か行かなきゃいけないし、それで送るところもほかに送らなきゃいけないところがあるんじゃないかなというふうに思うので、当然何部かも印刷しなきゃいけないとなったときに、一部だけ印刷する価格と議員全員に配ったりする冊数とかっていう計算をしたときに、そう大きな金額の違いはないんかなというような気がして、そこら辺のところもＩＣＴ推進委員会の中でも協議をしていただかないといけないのかなと思いますが、その辺についてだけお答えをいただければと思います。

○委員長（下山哲司君） 光成委員長、最初のスタートを切ったときに、法的にここだけは残さにゃならんのかなという説明があったと思うんです。その辺をもう一回お願いできますか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 決算書、当初予算書っていうのは、今言われたように、残さないといけないっていう部分があったんですけど、それは印刷業者のほうに印刷をさせていただいてると聞いてます。議員の17冊だけを削って、ほかは印刷しますっていった場合、費用的にはそう変わらないじゃないかっていうふうに聞きました。ただ、今回執行部のほうから聞いているのは、3月の当初予算書は庁内で印刷されてるっていうふうに聞いたんです。業者に依頼をしないので、3月の当初予算書はここで印刷されるから、17冊がなくなれば、それだけ印刷費用が安く抑えられるんじゃないかっていうふうに聞いております。

なので、保管しないといけないのは保管する分を作っていて、議員の部分だけが経費削減になるっていうふうには聞いているので、その辺の金額的なものはまたこれから調査をして、どれくらい安くなっていくのかっていうのは聞いていこうと思っております。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） ありがとうございます。

ＩＣＴ推進委員会の中で検討いただきゃいいと思うんですけど、その中、意見を挟むのは委員会の人たちでやっていただかなきゃいけないなと、私が今言うわけにいかないと思いますので、考えはありますが、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） その件はよろしいですか。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（下山哲司君） 他にありませんか。

○議会事務局長（土井常男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 土井局長。

○議会事務局長（土井常男君） 議会事務局から2件お知らせをいたします。

12月27日の議会運営委員会でコロナ対策について御協議いただきました。

今回の変更は、一般質問を20分から30分へ変更するのみとなりましたので、2月9日の議会全員協議会で説明をさせていただきます。なお、一般質問の提出の案内を1月24日にしておりますので、その中で質問時間30分以内と案内しております。

それから次に、2点目といたしましては、2月2日の議員研修でございます。

こちらのほうで研修資料をタブレットにお入れしますので、御持参いただきますよう、御案内をこれからさせていただきますので、よろしくお願いします。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 議事運営に関することだから、昨年の12月の末にその他で私は市長にお聞きして、何か海外研修、そのことでお聞きしたんですけど、あまり詳しくは説明はされていない中でも、あまり海外には行かれんほうがええんじゃないかという、私の意見は述べさせていただきました。

その後、何かこんな手紙が、名前がない手紙が入ってたりしまして、それで市長が行かれるんで議事が早くなったり、それから香川県のいろんな海外視察についてはいろんなニュースにもなったりして、そういうふうなこともあって、議会やそういうものを軽視をすべきじゃないというふうな意見があったりして、いろいろ結構きつい、名前がないからあまり本気にはできませんが、市民や議会を軽視してるんじゃないかというふうなことがあったり、それから議会としては市民の代表であることを再認識して、市民に疑念を抱かせない対応をお願いしたいというふうな手紙が入ったりします。

私は、説明が少ないからよく分かりませんでしたけれども、年末以降、元旦に能登半島で地震が起きたり、何が起こるか分からないと、そういう状況の中で、トップの市長というのはあまり長い期間海外へ行ったりすべきではないんじゃないかと。でも、それはその団体が決めたことなんで、その中で決められてはおりますが、市長は赤磐市のトップということもあって、今発言させていただいてんですけど、そういうふうな専門的な技術を持った、もし行かれるんだったら、将来性のある職員を派遣するなり、そういうことも対応できるんじゃないかなというふうに思ったりしまして、とにかく市民には疑念を抱かせないような対応をお願いしたいという声もあるんで、そういう市民もおられるんで、そこのところは、私の考えではそういう将来性のある職員にそういう技術的なもの、見聞するというのは今後も大切だと思うんで、意見だけは述べておきたいと思いますし、あと財政的な、市費もそれに関わって使われるのかどうか、その辺はお聞きしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） この件は、私はその他で委員長として福木委員にお聞きしようと思ったんですが、福木委員が建設課のほうへ何か内容を打診せられたとかということが事実で

ありますか。

○委員（福木京子君） 市長が説明をされたんだけど、よく分からなかったと。それで、これは多分建設関係かなと思って、もうちょっとどういうことなのかということ聞きには行きました。

○委員長（下山哲司君） もう少し議員としての立場を考えていただければ、議会運営委員会で提案させていただいて、諮らせていただいたものを、その場で分からなんだらしっかり聞いていただければええんで、それを外れて個人的に執行部のほうに聞いていただくということは、この議会運営委員会で諮り事に関してやっとなることですから、そういうときにはこの議会運営委員会を通して聞いていただかんと、福木委員がフリーでやられるという話にはならんで、その辺は御理解いただかにゃいけんのと、それから今福木委員が話をせられよんが、この前諮らせていただいた内容とちょっとずれたような話、話題になりよんじゃないかと思うんで、私にもそのあれが来たから議長にもお話ししたんですが、どうしてそういうことになるんか、私は福木委員がそういうことでやりようられるから、福木委員のほうからそういうもんが出てきとんかと思うとったんですが、そういうことじゃないんですね。

一番考えていただかにゃいけんののは、議会運営委員会で委員会として提案させていただいて協議させていただいた内容について、不服があるんならこの委員会へ申し入れてもらわんと、勝手にフリーでやられるというわけには、委員会のメンバーとしては成り立つ話じゃないんで、その辺はこれからも御理解いただいて、そういうことのないように、特にそういうもんを私らは頂いたらほっとくわけにはいかんで、議長とも話はしたんですけど、誰から出たかも分からない、じゃけど今日も事前打合せで言うたんですけど、そういうことがあれば、事前にもう少しみんなに理解がいただけるように説明をしとかにゃいけなんだのかなという話はさせていただいたんですが、福木委員のその行動自体は議会運営委員会のメンバーとしての立場を逸脱されとんじゃねえかというふうには私は思うとんで、その件をお聞きしようと思うんですが、今のお話で分かりました。じゃけど、もう分かったら余計福木委員にもよう考えていただかんと、議会運営委員会というものの価値がなくなるんで、その辺は御理解いただきたいと。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 私も、文書が届いたという話が伝わってきました。残念ながら私には届かなかったんですけども、そうした中で、議会運営委員会の中で、市長のほうから海外出張する内容を確認しとかないけんと思って、議会運営委員会の記録を確認しました。福木委員がよく分からなかったと言うんだけど、動く前に議会運営委員会の記録を確認して動くべきであるということを私としては申し上げたいと。

この内容については、市長の説明では、吉井川下流土地改良区田原井堰発電大規模入替え工

事に伴う発電機の工場検査のため、土地改良区副理事長としてチェコに出張しますと、出張内容については、発電機の工場検査、検査内容としては、専門知識を有する検査員として県の設備工事標準仕様をクリアする電気構造等の検査、それから製造品については、水力発電機で、国内に製造メーカーがないためということを説明されておりますので、これで福木委員がよく分からなかったというのは訂正をしていただければと思いますけれども、いかがでしょうか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 説明は受けました。

それで、今言われた分で聞いております。でも、聞いた中でも、さらにどんなんかというのを聞きたかったわけです。だから、その場合に、いうたら議会運営委員会を急遽開いてというわけにもいかんで、大体日程も決まっていってる中で、もう少しこういう海外視察は慎重にやるべきだし、はっきり言いましたら、あのときに私は質問したんですけど、ほかの委員は何かよく知っておられるような状況で、私だけが情報はあまり知らなかったような何か雰囲気がありました。それで、一応説明は求めましたが、その中でも土地改良区との関係があまり赤磐市とのあれはないんで、それ以上聞きたかったんですけど、聞いてなかったという状況もあります。今後は、そういうふうに、分からなんだら徹底して聞かせていただきます。

○委員長（下山哲司君） 要するに、議会運営委員会で諮り事をしたのを場外でやらずに、この場でお願いをしたいというのを今お願いしたんで、納得するまでお聞きいただければええんで、ほかの皆さんはあの説明で皆さん御理解いただけたから何も発言がなかったわけで、知ったんかなと、そういう、初めて皆さんお聞きするんで、福木委員の思いでそういうふうに行われたんじゃないけんで、そのときに必ず、諮り事をしょうる時間の中でお聞きいただくようお願いしたいと、執行部がおるわけですから、納得いかんのだったらいくまでお聞きしていただき結構なんで、場外でやらないようお願いしたいというふうに思います。

一応私もこの件について福木委員にお聞きしようと思ったんで、その件はやめます。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 土地改良区は別な組織で県との関係なんだろうけど、市費との関係は全然ないんですね。そこだけ確認をさせてください。

○委員長（下山哲司君） 市長、もう一遍きちっと説明してあげてください。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） どうやら御理解いただけてないようなので、もう一度説明させていただきます。

まず、文書が特定の市議会議員のみに配付されたということですけど、この文書も見させて

いただきましたが、誠に幼稚で稚拙な文章でございます。正確に物事を理解していない方が書かれたんだと思います。

先ほど福木委員が私の今回の出張を研修と言われました。これは、また理解が全くできていないということで補足させていただきます。

これは、まず吉井川下流土地改良区ですけども、この理事として私が言っているのは、田原用水組合の管理者として改良区の理事になり、そして理事会でこの改良区の副理事長へということが他薦で推薦され、全員の了解を得た私が副理事長になっているものでございます。

この市費との関係でいいますと、赤磐市としては改良区に市費を支払ってるものではありませんけども、これは田原用水組合の受益者がここに賦課金としてお支払いをしております。そういった意味では、赤磐市民の負担によつての運営ということでございます。

今回の発電機のことに関しては、改良区の中で企業会計を組んで、この賦課金等の収入を一円も入れておりません。この発電によって売電した収入のみで賄っている会計でございます。その企業会計から今回の出張旅費も支出されます。したがって、市費との関係というのはございません。

そういったことで、改良区と私の関係、それからこの工場検査による出張の関係ということを明確にさせていただきます。

以上でよろしいでしょうか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 年末からして、あと元旦から能登半島のああいう状況が起きました。赤磐市としても、県との関係で行かれてます。どういう状況が起こるか分からないという状況の中で、1週間近く海外というのは慎重にされにやいけんと思いますが、その辺はどういうふうにお考えされとんですか。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 能登半島の地震の案件では、現地の悲惨な状態を見ております。幸いにして赤磐市のほうではそういう被害がなかったわけなんですけども、これは正月で、長期休暇の間でもちゃんと対応できていると、これが危機管理だと思います。私が病気で入院、あるいは海外出張とか、短期でも、1泊2日で出かけても、その間に災害は絶対ないんだという話ではございませんので、危機管理として対応できる体制は常に整えて行動しております。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

御理解いただけましたか。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 福木委員にお願いを言わせていただいていいでしょうか。

○委員長（下山哲司君） 今の件ですか。

○市長（友實武則君） はい。

○委員長（下山哲司君） どうぞ、友實市長。

○市長（友實武則君） 実は、年末に福木委員から建設課のほうへいろいろ問合せがあって、場合によっては資料がくっついていけないということで、当課の職員、非常に困惑しておりました、どうしたらいいんだろうかと。それは、こういった議員から問合せが来て資料を提出する場合には、議長の承認をもって、議長から調査の依頼を受けて答えるというルールが定められておりますが、このルールに従ってないので、どうしたらいいんだろうか、直接議員と職員の関係がありますんで、本人によう言わんというようなことで悩んでおりました。そういったことが起こっておりますので、今後お気をつけいただければと思います。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 福木委員、先ほども私のほうからも注意させていただいたんですが、今後は気をつけていただきたいというふうに思いますので、そういうことでよろしゅうお願いします。

そういうことでよろしいか。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（下山哲司君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） 私のほうからも1点、その件と2点お聞きしたいというのがあったんで、私も立場上、聞きたくはないんですけど、ある一般の方から、下山さん、こういうことがあってもいいんかと、こういうような表現で聞かれたんで、いや、私は事実が分からんで分かりませんと答えてたんですが、議長が年末か、その辺、日にちは言われなんなんですけど、お包みをしとんじゃないかというような話があったんで、一応、私も議運の委員長として聞かれたら確認だけはさせていただきにゃいけんので、議長には大変申し訳ないんですけど、そういう事実があったんかなかったんか、それだけお答えを願いたいというふうに思います。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 委員長の御指名ですのでお答えをさせていただきますが、まず先ほどの怪文書と同様で、このお話が果たしてどなたから出たのか、お答えいただければいいと思いますが、いいですか。

○委員長（下山哲司君） 個人の名前は言えません。民間の方で山陽の方です。それ以外は私も、混乱を招く元になるんで、立場上、聞かせていただきょんで、議長も立場上お答えいただいたらというふうに思いますんで、よろしくをお願いします。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 立場上ということでお答えさせていただきますけれども、まずこの確証もないお尋ねを公式の議会運営委員会の場で、確認という意味だろうと思いますけれども、そういうことをすること自体が私としては納得できませんけれども、あえて委員長の立場も尊重をする中で議長としてお答えさせていただきますけれども、まず寄附ということだと思いますけれども、そういう事実はございません。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 大変聞きにくいことをお聞きして申し訳ありません。この赤磐市議会には懲罰委員会もあれもないんで、一応、というんが、旧柵原町では、共産党の方が町内の運動会をやりようるときに町長や助役や収入役や教育長にお包みしとったら、岡山県中新聞に出されるほど問題になっとなんで、そういうこともあるんで、ここできちっとしていただいとくほうが、私も言われた立場としてお答えがしやすいというふうに思うんで、皆さんの前でお聞きしたんで、気を悪うせんようをお願いしたいと思いますんで。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） もう一言言わせていただきますと、こういうケースが出たら、そしたらこれから後、そういううわさ話が出たら、全てこういう場で御本人に確認するのかという大きな問題が出てくると思いますけれども、そういう状況はあってはならないと私は思いますので、そこら辺は委員長としてどうお考えかお答えいただければと思いますが、いかがでしょうか。

○委員長（下山哲司君） 私がお聞きしたのは、議長でなかったらこの場でお聞きしません。しかし、皆さんがおる前できちっとしとかなと、赤磐市議会ということの議長である立場の方ですから、そういうことで聞きにくいことをお聞きしましたんで、そういうふうに御理解いただきたいというふうに思います。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 何かオブラートに包んだよう分からん話なんですけど、例えば議員とか、それから市長だとかで、よく私らもそれはあって、うわさというのはよくあるんですけど、前も私は、何だったか、議会の資格審査か何かということで、前うちの女房のときの施設の関係で、結局ここで資格審査の委員会まで開かれて、私は皆さんにやっていただいた経験があるんですけども、議員とか市長とか選挙で選ばれた人間は、どんなことがあっても、こういうところで、もし何かあの人がお金をもろうとか人にお金をあげたとかというような問題があっても、それは聞かれりゃええんだと思うんです。何の問題もなければ問題ありませんでそれ

で済む話で、返って公の場でそういうことははっきり言ったほうが、私たちは選挙で選ばれた人間とすれば、それが一番いい道だと思うので、何ら議長も心配されることもなくて、何もないんであれば何もないと言われりゃあそのほうが、今のような変な言い方をされると、何かけんかをしてるみたいな格好になって、誰が言ったんだ、何をしたんだっていうようなことを言うんじゃないくて、何もないなら何もありませんて、すっと言われたら誰もああ、そうですかで済むと思うんです。

だから、今回こういうふうな、今何かよく分からん、何がどうあったのか分からん、よく2人とか3人が分かっという話かも知らんけども、何か疑念があったら、公の場できちっと話をされりゃあ済むと私は思うんで、みんなもそういうふうを考えられたらいいかなと思うんですけど。

○委員長（下山哲司君） 私、立場としては、なぜここで聞いたかというたら、内々で済ませとったら、話がずんずん大きくなるんじゃないかというふうに思うたんで、そういうことにならんように、事前に打合せのときにも議長にもお聞きしたんですが、ないということであれば、そのほうが、はっきりそう言うていただければ、それで、誰に聞かれても、御本人がないと言われるんですからで終わるんですけど、そういうふうに理解していただかんと私も立場上困るんで。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） そういう事実はないということは申し上げたんですけども、果たして、金谷委員が言われるように、2人か3人しか知らんことを公式の場でやり取りして、確証もないのにやること、やればいいんじゃないのという発言と受け止めたんですけども、それでいくんであれば、本会議もそうだし、委員会、これは公式の委員会ですので、そういうところでやり取りをするのが果たして妥当なのかどうかということも私は思いますので、一応意見は申し上げておきます。

○委員長（下山哲司君） 私のほうは、もうお聞きしたんで、もう用は足りておりますので、ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、その他についてももうないようですので、以上をもちまして議会運営委員会を閉会いたします。

午前10時42分 閉会